

グローバルコンプライアンスの実務と危機対応 ～米国当局経験者と今後の展望を語る～

開催日：2017年7月6日(木) 主催：株式会社 KPMG FAS

米国では今年トランプ政権が誕生し、同国の外国企業に対する取り締まりが強くなりつつあると囁かれています。米国司法省をはじめとする世界中の競争当局による国際カルテルの摘発、外国公務員に対する贈賄の調査が相次いでいます。我が国でも日本版司法取引が施行されることになり、日本国内での贈収賄や独禁関連の摘発が増加されることが予想されています。

なぜ多くの日本企業が摘発の対象になるのか、なぜ日本企業の幹部が服役することになるのか、なぜこのような状況が今後も続くのか、企業経営において検討すべき重要な課題は尽きません。そこで、弁護士やリーガルテクノロジーベンダーからの視点のみではなく、米国司法省の元検査担当者を交えて、課題を解決するヒントを探る機会となるセミナーを開催いたします。

開催概要

開催日時	2017年 7月6日 (木)
	受付開始 13:30～ セミナー 14:00～16:50
会場	ベルサール八重洲 Room A+B 東京都中央区八重洲1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル 2階
定員	150名 定員になり次第、締め切りとさせていただきますので、予めご了承下さい。 受講料は無料です。



日本橋駅
A7出口 直結 (東西線・銀座線・浅草線)
東京駅
八重洲北口 徒歩3分 (JR線・丸ノ内線)

お申込方法

下記のお申込サイトに必要事項をご入力下さい。
開催1週間前ごろに受講票をお送りしますので、当日、ご持参いただき受付の際にご提出下さいますようお願い致します。

お申込サイト

<http://www.kpmg.com/Jp/fr-0706>

お問合せ先

KPMG FAS セミナー担当
Tel: 03-3548-5778
E-mail: fasmktg@jp.kpmg.com

プログラム

- | | |
|-------------|--|
| 13：30～14：00 | 受付 |
| 14：00～14：10 | 開会のご挨拶 KPMG FAS パートナー 高岡 俊文 |
| 14：10～15：50 | <p>パネルディスカッション (逐次通訳付)
「当局調査の各キープレーヤーが語る、有事対応および平時対応の
ベストプラクティス」</p> <p>パネリスト
西村あさひ法律事務所 パートナー 平尾 寛 氏
Hughes Hubbard & Reed法律事務所 パートナー Elizabeth Prewitt 氏
大江橋法律事務所 カウンセル 山口 幹生氏</p> <p>モデレーター
KPMG FAS マネージャー 吉岡 一真</p> |
| 15：50～16：00 | 休憩 |
| 16：00～16：15 | KPMG FASのグローバルコンプライアンスへの取り組みについて
KPMG FAS 吉岡 一真 |
| 16：15～16：45 | <p>実務講演
「グローバルコンプライアンス違反の予防・早期発見のための実務事例」</p> <p>KPMG FAS マネージングディレクター 林 稔</p> |
| 16：45～16：50 | 閉会のご挨拶 KPMG FAS パートナー 伊藤 益光 |

平尾 寛 氏**西村あさひ法律事務所 弁護士**

主たる業務分野は、企業の危機管理・争訟であり、海外当局が関係したクロスボーダー危機管理案件の処理にも精通している。これまで、証券取引等監視委員会、公正取引委員会、検察庁等の取締当局への対応、金融庁等の監督当局への対応のほか、米国司法省をはじめとする海外の取締当局の対応を数多く手がけている。また、企業の役職員の不祥事対応や環境法令違反をはじめとする各種規制違反への対応など、幅広い危機管理案件に従事。このほか、内部通報体制の構築に関するアドバイス、贈賄防止体制構築に関するアドバイス、デューデリジェンス支援等、予防的危機管理に関する業務の経験も豊富。

Elizabeth Prewitt氏**Hughes Hubbard & Reed法律事務所 弁護士**

16年間、米国司法省に所属。なかでも2012年から2014年までニューヨークの司法省独占禁止法調査局の事務局長を勤める。司法省の在任期間中、贈収賄、マネーロンダリング、重大な詐欺、税金、独占禁止法違反などの複雑で大規模な調査を指導。2015年からHughes Hubbard & Reed法律事務所にてパートナー弁護士として国際カルテル案件や内部不正調査、監督官庁などの複雑な案件を手掛ける。元司法省の経験を生かして企業に対し有効なコンプライアンスへの取り組み方法をサポート。

山口 幹生 氏**大江橋法律事務所 弁護士 公認不正検査士**

主たる業務分野は刑事法、独占禁止法、金融商品取引法、ホワイトカラークライム、コンプライアンス。1989年から検事に任官し、福岡、熊本、横浜地検を経て東京地検特捜部へ。横浜地検刑事部長から広島地検次席検事を経て大江橋法律事務所へ移籍。これまでKDDI株式会社の外部調査委員会の委員や株式会社東芝の役員責任調査委員会及び同責任追及に係る損害賠償請求訴訟・訴訟代理人を務める。このほか、豊富な捜査実務等の経験を踏まえ、行政規制当局や捜査機関への対応、不祥事一般の事後対応の在り方に関する各種助言・指導や関連セミナー・社内研修の講師等も行う。

KPMG FAS**高岡 俊文****フォレンジックサービス部門 代表パートナー**

1989年に港監査法人（現：あずさ監査法人）に入所し、2001年KPMG FAS設立とともに移籍。不正・不祥事の予防、発見、対処を中心としたサービスに数多く従事している。不正調査の対象に関しては粉飾、横領等の財務不正、情報漏洩、インサイダー取引等幅広く手掛けており、その調査体制としては社内調査のサポート、第三者委員会のサポートまたは調査メンバー等を多数経験している。公認会計士、公認不正検査士協会評議員

伊藤 益光**フォレンジックサービス部門 パートナー**

日本および米国にて18年以上の監査、リスクコンサルティングサービスの経験を有する。KPMGジャパンフォレンジックテクノロジーのカントリーリーダー、ならびに、サイバーレスポンスサービスのリーダーを兼務。サイバー攻撃に起因するさまざまな情報漏洩案件の調査、不正案件の調査に多数の実績を有し、加えて、金融機関へのアンチマネーロンダリング（AML）やFCPA対応サービスを提供、US-SOXおよびJ-SOXの対応支援サービスは、日本および北米で提供している。

林 稔**フォレンジックサービス部門 マネージングディレクター**

1991年に朝日新和会計社（現：あずさ監査法人）に入所し、会計監査や内部管理体制に関する業務に従事。1999年からリスク管理やコンプライアンスの支援業務に従事。あずさ監査法人、KPMGビジネスアシュアランス、KPMGビジネスアドバイザリーの勤務を経て、現在、KPMG FASのフォレンジックサービス部門にて、海外事業リスク管理、国際カルテル・外国公務員贈賄対応等のグローバルコンプライアンスや不正リスク管理の支援業務に従事。

吉岡 一真**フォレンジックサービス部門 マネージャー**

2016年にKPMG FAS入社。国際カルテル、FCPAなどの当局調査や米国訴訟に関わるEディスカバリの支援が専門で有事対応だけでなく平時からの情報管理の取り組みであるInformation Governanceの重要性を各企業に提案している。